

報告様式(2)

公益目的支出計画実施事業報告
(調査研究)

事業名	公4-04 液体貨物の取扱いに関するデータベースの作成
事業目的	<p>協会の長年にわたる石油・化学品・液化ガス貨物等の液体貨物輸送に関わる検査・分析業務を通して得られた知見及び公的規格や団体規格、分析方法などの多種・多様にわたる情報の中で、一連の分析手法を動画で紹介し液体貨物の海上輸送に携わるメーカー、輸出入商社、海運会社、損害保険会社等の不特定多数の関係者にHPで公開し、社会にとっての不可欠な物資，エネルギー等の商取引の円滑化に寄与する。</p>
<p>今期の成果 *今期実施した調査内容について簡潔に記述する。</p>	<p>石油・化学品・液化ガス貨物等の液体貨物輸送に関わる検査業務での化学分析は当該貨物の品質確認や損害発生時の原因調査等において重要な役割を担っている。 石油化学品における品質確認の代表的な5項目についての分析動画を作成し、HPに公開した。</p> <p>動画1：引火点（TCC） 石油製品（燃料油）にとって重要な分析項目であり、複数ある測定法の中からタグ密閉法(Tag Closed Cup method)について紹介する。</p> <p>動画2：蒸留 石油製品は、原油を蒸留することにより各留分に分けられ製品となる。そのため石油製品の識別、品質確認に重要な項目である。</p> <p>動画3：色相（Hazen） 石油化学品にとって品質異常が最もシンプルで容易に発見できる方法であり、その色相を紹介する。</p> <p>動画4：水分（KF） 石油製品（燃料油）にとって水分の混入は好ましくないため、その方法を紹介する。 複数ある測定法の中からカールフィッシャー法（Karl Fischer）について紹介する。</p> <p>動画5：密度（比重瓶） 密度はその製品を構成する成分の化学情報を含んでおり、石油製品の種類を特定するために極めて重要な物性であり、その方法を紹介する。</p>
備考	